

第36回民族藝術学会大会プログラム

7 月 25 日 (土)	10:30	開会あいさつ	会長
	10:35~12:15	一般発表	
	10:35~11:05	カトマンズ・クマリの館についての考察	城 直子(建築)
	11:10~11:40	タンザニアにおけるティンガティンガ・アートの多様化 —アーティストから見た真正性に着目して—	大川 和愛(民族学)
	11:45~12:15	プレ・アンコール～アンコール期浮彫の“鳳首篋篋”が意味すること	由比 邦子(芸術史)
	12:15~13:30	休憩 (75分)	
	13:30~	一般発表	
	13:30~14:00	中村裕太は長谷川三郎に何を見たのか —《眼横鼻直》と蒲鉾板版木を中心に	服部 正(美術)／ 中村 裕太(工芸)
	14:05~14:35	1950年代関西における前衛書と美術の交流：森田子龍の創造と摩擦	向井 晃子(美術史)
	14:40~15:10	在朝鮮日本人画家・加藤松林人の戦後作品 —詩人・金素雲との関係を中心に—	バン ミナ(美術)
15:15~15:45	画家葉祥明のコスモロジー：家族誌のアプローチから	張 玉玲(民族学)	
16:00	オンライン懇親会 (ご案内するリンクより参加ください。もとより無料です)		

7 月 26 日 (日)	13:00~14:40	一般発表	
	13:00~13:30	アートと人類学：往還の先に見える可能性	廣田 緑(美術)／ 中尾 世治(民族学)
	13:35~14:05	遠い「他者」の記録をひらき継承する技法の探求 —「映像のフィールドワーク展」の試みから	丹羽 朋子(民族学)
	14:10~14:40	裏側からグローバリゼーションを描くこと —中南米と東南アジアの集団的芸術実践を事例に—	江上 賢一郎(美術)
	14:40~15:00	休憩 (20分)	
	15:00 ~ 17:30	シンポジウム 「2010年代のポップフォーク(東欧演歌)」	
	15:00~15:15	趣旨説明	伊東信宏(音楽学)
	15:15~15:50	報告1 「音楽における地域主義：南東欧のポップフォーク」(仮題)	イヴァ・ネニッチ (音楽学・ペオグラード大学)
	15:50~16:00	休憩	
	16:00~16:25	報告2 「表層的音楽—ルーマニアのマネレがつなく世界」	岩谷彩子(人類学)
	16:25~16:50	報告3 「ポピュラー音楽と「民族性」 ：セルビアにおけるターボフォークの言説と実態」	上畑史(音楽学)
	16:50~17:00	休憩	
	17:00~17:30	全体討議	
		閉会の辞	大会実行委員長

※一般発表は、オンラインでの聴衆の負担などを考慮し、発表20分・質疑10分とさせていただきます。